

| | | | |
|-----------|------------|-------|-------|
| 講義名 | 地域・都市集客論 | | |
| 科目区分 | 学部専門科目 | | |
| 担当教員 | 辻本 千春 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 4時限 | | |
| 履修開始年次 | 2年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 44051 |

主題と概要

少子高齢化が先進国で最も進んでいるといわれる日本においては、観光が大きくクローズアップされてきています。つまり、定住人口が減少すると、地域の消費額や納税額が減少して、その分の補填のためには他地域からの観光客や人口流入が必要となってきます。また、マスコミで話題になっているように訪日外国人観光客も日本にとって重要になりつつあります。

この講義は、地域や都市に集客するにはどのような方法があるのか、その意義、そして課題は何かについて考えるとともにそのマネジメントについても学びます。

到達目標

- a. 知識・理解 ・地域や都市の現状を理解することができる。
・集客における観光の重要性を説明できる。
- b. 思考・判断 ・地域や都市の集客に関する課題について、問題解決方法を自分で考えることができる。
- c. 関心・意欲 ・ニューツーリズムと都市との関係性を理解することができる。
- d. 技能・技術 ・都市観光のマネジメント手法を理解できる。
- e. その他 ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることができる。

提出課題

・毎回小レポートを課します（出席確認を兼ねる）。8回目の授業で小テストを行います。

評価の基準

・授業回数の3分の1（5回）欠席すると定期テスト（あるいはレポート提出）の受験資格はありません。

・平常点40%（小レポートを含む）、定期試験（またはレポート）60%（中間小テストを含む）とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他

・座席指定を行います。

・授業中の携帯・スマホの使用は禁止します。平常点から減点します。

・そのほか私語、着帽等は許可しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

・必要に応じてプリントを配布します
・参考文献・・・授業中に紹介します。

授業計画

- 0 1 . 地域創造と観光 1
地域の現状と観光の重要性
- 0 2 . 地域創生と観光 2
都市における観光
- 0 3 . 地域資源と地域集客 1 .
離島の観光マネジメント
- 0 4 . 地域資源と地域集客 2 .
温泉地
- 0 5 . ニューツーリズムと地域・都市集客 1
メディカルツーリズム（海外）
- 0 6 . ニューツーリズムと地域・都市集客 2
メディカルツーリズム（医療観光；国内）
- 0 7 . ニューツーリズムと地域・都市集客 3
ヘルスツーリズム（九州オルレ）
- 0 8 . スポーツツーリズムと地域・都市集客
ワールドカップ、オリンピック
- 0 9 . コンテンツツーリズム 1 .
全国の取り組み（スクリーンツーリズムなど）
- 1 0 . コンテンツツーリズム 2 .
神戸におけるコンテンツツーリズム（スクリーンツーリズムなど）
- 1 1 . 自然資源と集客 1
世界遺産知床
- 1 2 . 自然資源と集客 2
スノーリゾート、ニセコ
- 1 3 . 国際観光と地域・都市集客 1
MICEと集客
- 1 4 . 国際観光と地域・都市集客 2
飛騨高山
- 1 5 . まとめ、
地域創造と観光マネジメント・DMO

予習・復習

・毎回の授業内容が変わるため、必ず復習が必要です。

・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。

備考

・外部講師の方を予定しています。

・2年生以上は後期「企業論特別講義（サービス業）」の受講を勧めます。ホスピタリティ・ツーリズム業界の企業のトップが講義をされます。